



柏櫓舎まるごと読み放題 4,000円コース 書籍リスト

このほか、3,000円コースのリストからお選びいただけます。(表示はすべて税別です)

国内文芸・写真集

完本 丸山健二全集 争いの樹の下で 全四巻

丸山 健二 著

流れゆく者と淀む者、創る者と壊す者、生きる者と生きながら死する者。両者の鮮烈な対比を軸に、この長大な物語は進んでいく。

丸山文学の精髓が詰め込まれた、著者の全集の劈頭を飾るに相応しい傑作。



〈一〉6,000円 〈二〉6,500円



〈三〉6,500円 〈四〉6,500円

完本 丸山健二全集 いつか海の底に 全二巻

丸山 健二 著

人生の岐路に立った17歳の青年の鬱屈した心情を描き切る。



〈一〉6,500円 〈二〉6,000円

完本 丸山健二全集 野に降る星 全二巻

丸山 健二 著

反権力の旗手、丸山健二の峻烈な世界が躍動する。



〈一〉6,000円 〈二〉6,000円

完本 丸山健二全集 日と月と刀 全四巻

丸山 健二 著

時は乱世の室町時代。山賊に攫われ、馬上から投げ捨てられた女から生まれ落ち、刀鍛冶に拾われ育てられた無名丸。やがて無名丸は見よう見まねで自ら鍛えた〈草の刀〉と、育ての親が鍛えた〈星の刀〉を携え、放浪の旅に出る。無名丸の波乱に満ちた人生を描いた壮麗な絵巻物語。



〈一〉6,000円 〈二〉6,500円



〈三〉6,000円 〈四〉6,000円

完本 丸山健二全集 銀の兜の夜 全二巻

丸山 健二 著

自由とは何か、を求めて苦悩する若者の物語。



〈一〉7,000円 〈二〉7,000円

完本 丸山健二全集 落雷の旅路 全二巻

丸山 健二 著

各巻に短編5編ずつを収録した短編集。「落雷の旅路」、「牙に虫」他。



〈一〉6,500円 〈二〉6,500円

完本 丸山健二全集 貝の帆 全四巻

丸山 健二 著

現実と幻想が入り混じり、周りの人々の愛憎劇が繰り広げられる。厄介きわまりない、いつまでたっても踏ん切りのつかない人間の心の闇を、受精から出産までの十月十日というスパンで描き切る。本物の文学とは何か。その答えがここにある。



〈一〉6,500円 〈二〉6,500円



〈三〉6,500円 〈四〉6,500円

太宰治選集 全三巻

太宰 治 著

生誕100年記念出版!

【太宰治選集の特色】

(1)太宰治の小説全155編のうち、選りすぐりの101編を収録(うち重複作品9編)。

(2)本邦初。各巻読者の年代層に合わせて作品を選別。

(3)本邦初。代表的短編9作品を重複(魚服記、富嶽百景、葉桜と魔笛はIとII、走れメロス、雪の夜の話、眉山はIとIII、満願、ヴィヨンの妻、桜桃はIIとIII)に収録。

(4)作品中の旧字体を原典を除き現代仮名遣いへ変更。

【カバー】



4,571円 4,952円 4,762円

【ケース】



小檜山博全集 全八巻

小檜山 博 著

第一巻 小説(1956~78年)

第二巻 小説(1978~84年)

第三巻 小説(1982~86年)

第四巻 小説(1986~93年)

第五巻 小説(1993~2002年)

第六・七・八巻 エッセイ

【各巻解説者】

川西政明、川村湊、黒古一夫

各巻 4,381円

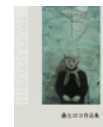


作家生活三十周年記念出版。自らが生きた過酷な風土を武器に、現代文学が失った魂の感動の復活へ向かう作家の、激烈な生きざまを刻んだ全八巻。

森ヒロコ作品集

森 ヒロコ 著

日本のみならず海外にも多くのファンを持つ、銅版画〈エッチング〉界の大家、森ヒロコ語る上で欠かせない作品群、300点以上を所収したまさに集大成と言える作品集!



3,800円

MOTHER

岡田 敦 写真

木村伊兵衛写真賞受賞作家 岡田敦最新作! 祝・平成26年度 北海道文化奨励賞受賞。

“人がこの世に生まれ”、“一人の女性が母親になる”、その奇跡の瞬間をみつめる感動の写真集。



3,800円

百歳を超えた北海道人

小森 学 写真・文

北海道命名150年!

北海道に生まれ、百年を生きたすべての方に、心からの敬意と感謝を捧げたい。

百歳を超えて、いきいきと人生を謳歌する、58人の北海道人の表情を切り取った写真集。



3,500円

文士一瞬 野上透写真集

野上 透 写真

三島由紀夫ら日本の文士97人を撮った写真家故野上透による写真集。野上透のカメラは、懐かしき文士・文壇の面影、彼らの眼差しの奥にあるものを抉り出す。



3,500円

完本 丸山健二全集 月に泣く

丸山 健二 著



6,000円

『鳥籠を高く』妻子と職場を失った四十歳の主人公は、小鳥の鸞を手に入れ、気ままな後半生のスタートを切る。『月に泣く』春夏秋冬、四枚の季節の異なる屏風の傍らで眠る私の物語。

芥川賞受賞作家、丸山健二の究極・珠玉の純文学「完本丸山健二全集」でお楽しみください。

【全集詳細】

装丁 寄藤文平+鈴木千佳子(文平銀座)
判型 四六判(131mm×188mm)
体裁 上製本・函入・箔押し
頁数 350~650頁(大凡)